



プレス発表資料

平成22年1月18日
秋田大学

平成22年度政府予算案等に係る秋田大学主要事項について

いつも格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成22年度政府予算案等に係る秋田大学主要事項は下記のとおりですのでお知らせします。

記

【平成22年度予算】

[組織関係]

1. 秋田大学医学部医学科入学定員の増

入学定員	110人 → 117人
教員数	8人

2. 秋田大学国際資源学教育研究センターの整備

教員数	3人
-----	----

[教育研究関係] (概要は別紙1を参照)

1. プロジェクト遂行型実践教育によるスイッチバック式ものづくり一貫教育
2. Hand-MoCapによる技能継承・支援技術の研究開発事業
3. 高齢肥満社会における健康寿命延伸のための戦略的研究事業
4. 「まなびの総合エリア」を養成・研修拠点とした統合型教員養成
5. 磁場誘導加熱による癌の新しい温熱療法に関する研究

[診療関係] (概要は別紙1を参照)

1. 集中治療支援システム
2. MRI (磁気共鳴断層撮影) 装置画像診断システム
3. 地域医療拠点体制等充実支援経費

[施設整備関係]

1. (手形) 図書館改修 22年度
鉄筋コンクリート造 4,510 m² (改修)
2. (医病) 病棟改修等 21年度～24年度【継続事業】
鉄骨鉄筋コンクリート造 21,000 m² (改修)
600 m² (増築)
3. (医病) 外来棟・中央診療棟改修 22年度～25年度
鉄骨鉄筋コンクリート造 18,560 m² (改修)

【平成21年度第2次補正予算】 (概要は別紙1を参照)

1. 患者給食用設備
2. 医師不足解消に向けた医学部定員増に伴う教育環境の整備

【お問い合わせ先】
別紙2のとおり

別紙 1

概要

【平成22年度予算】

[教育研究関係]

1. プロジェクト遂行型実践教育によるスイッチバック式ものづくり一貫教育
各年次に新たにプロジェクト遂行型の実践科目群を設け、基礎教育科目群とのスイッチバック方式を導入することにより、年次毎にステップアップできる4年間一貫したものづくり実践教育を実現し、工学基礎力を備えた創造性豊かな技術者の育成を目指す。
2. Hand-MoCapによる技能継承・支援技術の研究開発事業
本事業では、既存の技術では不可能だった手の巧緻動作を高精度に記録できるHand-MoCapを武器に、熟練者の技能をデジタル化して継承するという「未踏の学術分野」に挑戦し、熟練技能の記録・継承そして支援に関する学際分野の教育・研究を推進する。
3. 高齢肥満社会における健康寿命延伸のための戦略的研究事業
北東北地域は、顕著な高齢化・高い肥満率・低い平均寿命に特徴つけられる。本地域において健康寿命延伸あるいは短縮を規定する因子を同定することはニーズがきわめて高い。本事業は地域社会との連携を図り戦略的な研究領域を構築する。
4. 「まなびの総合エリア」を養成・研修拠点とした統合型教員養成
教員養成と教職研修の統合の場「まなびの総合エリア」を整備・活用し、学生の教育体制の強化、教師力の点検と研修への活用、学びのポータルサイトの運営を行う。
5. 磁場誘導加熱による癌の新しい温熱療法に関する研究
一定の温度（キュリー温度）に達すると発熱が停止する固有の物質（感温性磁性体）を癌組織に注入、体表から磁場を加え正確に自動温度制御しつつ発熱させる新しい温熱療法の研究を行う。本方は温度測定不要かつ繰り返し何度も行え患者負担が少ない特徴をもつ。

[診療関係]

1. 集中治療支援システム
内科系・外科系を問わず、呼吸、循環、代謝、その他重篤な急性機能不全の患者の容態を24時間体制で管理しつつ、集中的・総合的により効果的な治療・看護を行い、回復させるためのシステムである。
2. MRI（磁気共鳴断層撮影）装置画像診断システム
頭頸部、体幹部、脊椎・脊髄、整形領域、心臓領域とほぼ全身にわたる断層画像をあらゆる角度から高い分解能により撮像でき、より鮮明な画像により診断が可能となるシステムである。
3. 地域医療拠点体制等充実支援経費
地域医療のセーフティネット構築のための体制等整備、医師・看護師をサポートするコ・メディカルスタッフの配置、医療機器の整備充実に必要な経費を支援するなど、教育・研究・診療体制の充実や勤務環境の改善を図る経費である。

【平成21年度第2次補正予算】

1. 患者給食用設備

附属病院再開発計画に基づき平成22年度に設置される新厨房はHACCPの概念を取り入れた衛生管理による施設であり、本設備はこれらを踏まえて患者給食の提供において行われる一連の作業を総合的に行うものであり、病院にとって必要不可欠なものである。

2. 医師不足解消に向けた医学部定員増に伴う教育環境の整備

平成22年度から実施する医学部入学定員増に伴い実習用設備の不足による教育環境の低下を防止し、教育の質を担保するために、学生教育設備の整備を図るものである。

【お問い合わせ先】

総務：総務課長 小山田 享史
電話：018-889-2204
予算：財務課長 鈴木 康彦
電話：018-889-2222

事業内容等に関するお問い合わせ先

【平成22年度予算】

[組織関係]

1. 秋田大学医学部医学科入学定員の増

担当：医学系研究科・医学部 総務課長 川村 金蔵
電話：018-884-6005

2. 秋田大学国際資源学教育研究センターの整備

担当：国際資源学教育研究センター センター長 水田 敏夫
電話：018-884-2380

[教育研究関係]

1. プロジェクト遂行型実践教育によるスイッチバック式ものづくり一貫教育

担当：工学資源学部 機械工学科 教授 土岐 仁
電話：018-889-2347

2. Hand-MoCapによる技能継承・支援技術の研究開発事業

担当：工学資源学部 電気電子工学科 准教授 水戸部 一孝
電話：018-889-2339

3. 高齢肥満社会における健康寿命延伸のための戦略的研究事業

担当：医学系研究科 教授 山田 祐一郎
電話：018-884-6117

4. 「まなびの総合エリア」を養成・研修拠点とした統合型教員養成

担当：教育文化学部附属教育実践総合センター センター長 石黒 純一
電話：018-889-2551

5. 磁場誘導加熱による癌の新しい温熱療法に関する研究

担当：医学系研究科 教授 小川 純一
電話：018-884-6127

[診療関係]

1. 集中治療支援システム

担 当 : 医学部附属病院 集中治療部長 多治見 公高
電 話 : 018-884-6183

2. MRI (磁気共鳴断層撮影) 装置画像診断システム

担 当 : 医学部附属病院 中央放射線部長 橋本 学
電 話 : 018-884-6302

3. 地域医療拠点体制等充実支援経費

担 当 : 医学系研究科・医学部 総務課長 川村 金蔵
電 話 : 018-884-6005

[施設整備関係]

1. (手形) 図書館改修

2. (医病) 病棟改修等

3. (医病) 外来棟・中央診療棟改修

担 当 : 施設企画課長 高橋 勝治
電 話 : 018-889-2242

【平成21年度第2次補正予算】

1. 患者給食用設備

担 当 : 医学部附属病院 栄養管理部 栄養士長 中山 真紀
電 話 : 018-884-6050

2. 医師不足解消に向けた医学部定員増に伴う教育環境の整備

担 当 : 医学系研究科・医学部 事務部長 波塚 章生
電 話 : 018-884-6003